

科目名	現代文 B	単位数	2	必修選択	必修
教科書	高等学校 改訂版 現代文 B(第一学習社)				
副教材	カラー版 新国語便覧(第一学習社)、常用漢字ダブルクリア(尚文出版) キーワードの卵(尚文出版)、よむナビ現代文3(いっずな書店)				

教科・科目の内容

近代以降の様々な文章の読解を通して、文章を的確に理解する能力、適切に表現する能力を高めることをねらいとします。その上で思考力や想像力、認識力を伸ばし、感性や情緒を育み、世界を豊かに認識していこうとする態度を身に付けていきます。

日常生活や将来とのつながり

人は言葉がないと考えることはできないとよく言われます。言葉がなければ自分の思いを相手に伝えることも十分にはできません。たとえ、どんなに深い思いがあったとしても、言葉なしには伝える術が足りません。桜の花が刹那に散りゆくわびしさや切なさ、また、そこから生まれる美しさについて書かれた文章を読んで以来、自分の中の桜を見る思いが変わったという人がいます。言葉、表現、視点を知ること、世界の見え方は変わります。豊かな世界が開けてきます。

国語を勉強することの意味というのは、そして楽しさも、きっとそこにあるのです。

この授業の学習方法(予習と授業の関わり)

- ・とことんまで自分自身で考えること。
- ・本文を毎時間読んでから、授業に臨むこと。
- ・こまめに辞書を引き、語彙を増やす努力をすること。

到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

評価の観点(評価方法)

① 関心・意欲・態度(行動観察・ノート点検・課題提出)

国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。

② 話す・聞く能力(行動観察)

目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。

③ 書く能力(行動観察・提出物)

必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。

④ 読む能力(行動観察・定期試験・提出物)

文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。

⑤ 知識・理解(小テスト・定期試験・提出物)

伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

指導学年	科目名	単位数	教科書名(出版社)	副教材名
3年	現代文B	2	高等学校 改訂版 現代文B (第一学習社)	カラー版新国語便覧(第一学習社) 常用漢字ダブルクリア、(尚文出版) キーワードの卵(尚文出版) よむナビ現代文3(いっずな書店)

学期	学習内容	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価の観点				
			関	話	書	読	知
一学期	評論(文化論・グローバル化) 『グローバル化』の中の 異文化理解 住原則也	・グローバル化の持つ「個別化」という側面を理解する。 ・グローバル化の「二つの側面」を理解し、異文化理解について話し合う。	○	○		○	○
	小説「檸檬」 梶井基次郎	・小説に描かれた情景、人物、心情を読み味わう。 ・青年期特有の主人公の心象風景やその研ぎ澄まされた感覚に着目しながら、その独特な表現上の特色を把握する。 ・作品の主題について話し合ったり、文章にまとめたりする。	○	○	○	○	○
	※ 中間試験					○	○
	評論(生命科学) 「いのちのかたち」 西谷修	・論の構成や展開、構造を意識して読み取る。 ・「生命」と「いのち」の語の違いを理解する。 ・「いのち」や「生きていること」、「人間的」とはどうか、考察を深め、文章にまとめる。	○		○	○	○
	評論(身体論・自己中心性) 「身体の個性」 浜田寿美男	・本文中にある対比をつかみ、筆者の主張を読み取る。 ・具体例がどのような抽象概念を説明しているかを理解する。 ・筆者が主張する「本源的自己中心性」を理解し、考察を深める。	○	○		○	○
二学期	※ 期末試験					○	○
	問題演習						
	小説「幼なじみたち」 遠藤周作	・小説に描かれた情景、人物、心情を読み味わう。 ・自分とは異なる他者の生き方を理解し、複眼的な視点を学ぶ。 ・他者への許容や体験者の記憶を重んじることが、平和な社会を構築するのにどれだけ大切かを理解する。	○	○	○	○	○
	評論(社会論・認識) 「目に見える制度と見えない制度」 中村雄二郎	・論の構成や展開、構造を意識して読み取る。 ・抽象的な語句や概念的な表現などの意味を正確に捉える。 ・筆者が述べる「目に見える制度」と「見えない制度」について、自分の身近なことに照らして考えたり、話し合ったりする。	○	○		○	○
	※ 中間試験					○	○
三学期	評論(日本人論) 『である』ことと『する』こと 丸山真男	・論の構成や展開、構造を意識して読み取る。 ・本文の読解を通し、日本と近代についての理解を深める。 ・筆者の主張を理解し、全体の要旨をまとめる。	○		○	○	○
	詩「自然の背後に隠れて居る」 萩原朔太郎	・詩の主題について話し合い、考えを深める。 ・萩原朔太郎の作品や作風について理解を深める。	○	○		○	○
	※ 期末試験					○	○
	問題演習						
	小説「舞姫」 森鷗外	・物語の時代背景を理解し、小説の内容を的確に読み取る。 ・主人公の心理を読み取り、近代の知識人の生き方や「自我」のありようについて考える。 ・雅文体の美しい調べを読み味わう。	○	○	○	○	○
	※ 学年末試験					○	○

備考	授業の様子で、進度を調整したり、教材を入れ替えたりすることがあります。
----	-------------------------------------